



栗東西中学校・学校だより No5

教育目標『心豊かで しなやかな生徒の育成』



2025(令和7)年7月18日
栗東市立栗東西中学校

つながり

生徒のみなさんへ ～1学期の学びのふりかえり～

【めざしているのは】 10年後、20年後に向けて、

「なりたい自分をめざして自ら挑戦し失敗してもそれを生かして次の挑戦ができる生徒」

「多様な人と関わり、考えをやりとりし、新たな思考や方法を生み出せる生徒」

ONBC音楽祭で学級がひとつになりました

○体育祭協働実行委員会で先生と対等に意見を戦わせ

計画を作りました

○校則を改正し学校生活をより良くしました

○ヒューマンタイムで「子どもの人権」を学びました

○ヒューマンタイム実行委員にたくさんの人のやる気が
集まりました

自立できる生徒

あなたも、あなたの周りの人も素敵で大切です。クラスや学年、学校にはいろんな人がいます。みなさんは、そのすべての人にとって、温かい居場所となる栗東西中学校を創っていかようとしています。

1学期、初めてのことや初めてのひとと出会い、たくさんの経験をしてきました。2学期は学級会を通して、思いを出し合うことやみんなで決めることの楽しさと難しさを感じていきます。

中学生広場「私の思い 2025」栗東市大会(7月5日)

1年 松平 尚大さん「給食ってすばらしい」 優良賞

2年 立石 大晟さん「つながり」 優良賞

3年 長井 四季さん「自分らしく生きる」 優秀賞 (県大会一次審査推薦)



栗東西中学校の代表として、3名のみなさんが素敵な発表をしてくださいました。松平さんは給食の楽しさを給食の準備をしてくださっている方への感謝の気持ちとともに伝えてくださいました。立石さんは、サッカーを通して築いてきたつながりから、「人とつながることの楽しさ」について語ってくださいました。長井さんは「コンビニ弁当」という象徴的なたとえを使いながら、日頃陥りやすい同調圧力に負けず、自分の芯を持ちたいという思いを宣言してくださいました。どれも大切な意見であり、聴いている人の心に刺さる「思い」でした。これからの生活にぜひ活かしてほしいと思います。

「心」 + 「生きる」 = 「性」 2年生性教育 田中助産師さん（7月7～9日）

「性」のことって初めてのことが多いし、恥ずかしくて（ほんとは恥ずかしがらなくていいことですが）誰に尋ねたらいいかわからないですね。最近便利なスマホ検索も本当のことは教えてくれなかったりしますから。だから正しいことをちゃんと学んでおきましょう。性教育で大切なことは、自分も相手も大切にすること、これはヒューマンタイムで学んでいることと同じ、そして栗東西中がめざしている生徒像と同じです。

もし不安なことがあったら、必ず誰かに相談してくださいね。



読書感想文にいかがですか 田中助産師さんおすすめの本紹介

- ①「これからの男の子たちへ」 太田啓子
- ②「女の子はどう生きるか」 上野千鶴子
- ③「星を編む」 風良ゆう
- ④「生理ちゃん」 小山健
- ⑤「マンガでわかるオトコの子の『性』」 染矢明日香

第1回ヒューマンタイム実行委員会2025（6月17日）

「わかりあえなくても仲間」、栗東西中のヒューマンタイムは、人と出会うこと、人とつながることの楽しさを感じることができる場所です。今年もたくさんの仲間が集まりました。人権を通じたみなさんの活動を楽しみにしています。



特別支援学級地元校交流会

今年も校区に住んでいるお友だちを迎えて交流することができました。

ビンゴゲームや
ペットボトルボーリングをして楽しい時間を過ごしました。



命を守る一番手はあなた自身です

ヘルメット着用強化週間（7月2～10日）

三者懇談期間中に、生徒のみなさんや保護者の方に向けて【結果報告】が掲示されていたのをご存知ですか？そこには、学校を離れるほど着用率が低下していることや、学年が上がるにつれて声掛けをする生徒が固定化していることが示されています。

また依然として花園信号付近の横断歩道のない交差点を直進して登下校する姿も見受けられます。自分は大丈夫、ではなく、命を守るために自分でできることを日頃からしていきましょう。